

平成26年度 適性検査問題作成方針

I 全般的な作成方針

- 1 学習指導要領に基づき、入学後に求められる思考力、判断力、表現力等をみることができる総合的な問題を作成する。
- 2 事象を読み解き、身の回りの環境や社会に積極的に働きかけていくことへの適性をみることができる問題を作成する。
- 3 問題解決のために必要な情報を収集、整理し、筋道を立てて考えたり自分の考えを表現したりすることへの適性をみることができる問題を作成する。

II 各適性検査問題作成方針と各問のねらい

適性検査 I

[作成方針]

- 1 人や社会にかかわる事象について、資料、会話文、文章などの内容を読み取り、必要な情報を関連付けて思考・判断・表現する学習の状況を見る。
- 2 想定された生活場面や学習場面をとらえる中で、課題をつかみ、解決に向けて、思考・判断・表現する学習の状況を見る。

[各問のねらい]

- 1 書き損じはがきの回収を計画する場面で、回収方法の工夫や、集会での低学年児童への適切な説明の仕方を思考し、表現する。
- 2 県歌「信濃の国」の歌詞にある郷土の姿を読み解き、複数の資料から歌詞の背景となる事実や作詞者の思いについて思考し、表現する。
- 3 「おやつ」という言葉から、江戸時代の時間の言い方に興味をもち、調べたことをもとに現在の時間の言い方との違いについて思考し、表現する。
- 4 より高い目標をもつことの大切さについて書かれた文章を読み、要点をとらえ、自分が考える中学校生活の送り方と結び付けて作文する。

適性検査 II

[作成方針]

- 1 自然科学や数理的な事象について、図や表、会話文などをもとに、必要な情報を整理、選択、処理する中で、見通しをもち筋道を立てて思考・判断・表現する学習の状況を見る。
- 2 根拠や方法及び結果を、図や表、グラフなどにまとめ、振り返ったり解釈したりする中で、事実を関連付けて思考・判断・表現する学習の状況を見る。

[各問のねらい]

- 1 基礎的・基本的な知識及び技能を活用して、情報をもとに関係を明らかにし、判断した内容を整理・処理する。
- 2 太陽光発電量の変化には、太陽光パネルに当たる日光の角度以外にも要因があることに気づき、いくつかの気象データを比較して、関連する要因について思考し、表現する。
- 3 お祭りで見たカルメ焼きについて、条件を整理して作った結果をもとに、ふっくらと膨らませる方法や膨らんだ理由を思考し、表現する。
- 4 地域の方々との交流に向けた畑の分割、収穫祭の班編制、費用について、情報を整理・処理して、条件に合う決め方を思考し、表現する。